

# 本場ロシアバレエ鑑賞



**株式会社ロシア旅行社**

担当者：加藤 聡

TEL: 03-3238-9101

FAX: 03-3238-9110

2015年1月30日

### 1、なぜロシアバレエか

現在、バレエは世界中で鑑賞することができます。ヨーロッパ、アメリカ、そして日本にも立派なバレエ団がありますが、やはりお勧めはロシアバレエです。

バレエはイタリアで生まれ、フランスで成長し、そしてロシアで成人したと言われています。そして、現在世界中で上演されているバレエの演目の主要なものはほとんどロシアで作られたと言っても過言ではありません。やはり、バレエを鑑賞するには本場ロシアに行くのが一番です。これが、ロシア旅行社がロシアバレエ鑑賞をお勧めする一番の理由です。

### 2、ロシアバレエに至る歴史

ルネサンス期にイタリアで生まれたバレエはフランスを經由し、ロシアで大きく花開きました。現代に伝わる古典作品の代表である「白鳥の湖」「ラ・バヤデール」「ドン・キホーテ」などは19世紀後半にロシアで活躍したフランス人の振付師プティパにより生み出されました。現代に伝わるバレエの代表的な古典作品はすべてロシアで生まれたと言われる理由はここにあります。

プティパはグラン・パ・ド・ドウの確立と言った確固としたバレエのセオリーを確立し、「クラシック・バレエの父」と呼ばれています。プティパにより確立されたバレエはその後、20世紀初頭に興行師ディアギレフがバレエ団「バレエ・リュス」を結成。パリ・オペラ座で公演を行い、フランスでのバレエブームを起こしました。それがヨーロッパ中に広がり、バレエ・リュスのダンサーや振付師、そしてその弟子たちがイギリスやアメリカにバレエを広め、現在の世界各地のバレエ団の基礎を作りました。つまり、現在の全世界のバレエの源流のほとんどがロシアにあると言って良いのです。

ロシアではプティパにより確立されたバレエはサンクトペテルブルクの帝室バレエ学校の教授法に引き継がれ、現在に至っています。その帝室バレエ学校の伝統を引き継いでいるのが現在の「ワガノワバレエ学校」で、長年の間に確立されたそのメソッドはしっかりと現代に受け継がれ、超一流と言われるダンサーを輩出しています。ロシアの劇場ではこの超一流のダンサーを眼の前で見ることができます。

### 3、ロシアの主なバレエ団と世界の主なバレエ団

#### ①マリインスキー・バレエ（ロシア・サンクトペテルブルク）

1738年創設の帝室バレエ学校（現在のワガノワ・バレエアカデミー）で養成されたダンサーが入団する超一流のバレエ団。世界で最も定評のあるバレエダンサー養成メソッドである「ワガノワ・メソッド」により徹底的に養成されたバレリーナで構成され、群舞からソリストの統一的な動きがレベルの高さを証明している。

②ポリショイ・バレエ（ロシア・モスクワ）

2011年10月にリニューアルオープンしたポリショイ劇場本館で有名なポリショイバレエ。サンクトペテルブルクのマリインスキーバレエと比較すると情熱的で率直、大胆な表現により劇的なバレエを作り上げるのが特徴。首都にある劇場のため、ソ連期に発展。男性ダンサーの踊りのスケールの大きさ、男性主役の作品の多さが特徴。ポリショイ劇場は白鳥の湖が初演された劇場として有名です。

③ロイヤル・バレエ（イギリス・ロンドン）

イギリス最高のバレエ団。ヨーロッパの他のバレエ団と比較すると20世紀に入ってからの設立と、歴史は浅い。バレエ・リュスの流れを汲むが、控え目で端正なイギリス人の国民性や、繊細な人間描写が特徴の演劇的なスタイルを取り入れた独自のスタイルが特徴。

④パリ・オペラ座バレエ（フランス・パリ）

17世紀後半にルイ14世により創設された史上最古のバレエ団。古典バレエに定評がある。一時期停滞期を迎えていたが、ロシアのディアギレフ率いるバレエ・リュスにより再ブームを迎え、復活。ここからヨーロッパにバレエブームが広がった。エレガンスさが特徴のバレエ団。

⑤アメリカン・バレエシアター（アメリカ・ニューヨーク）

アメリカで最大の規模と知名度を誇るバレエ団。上演は古典から現代作品までバラエティに富み、バレエ初心者にも親しみやすい。アメリカらしい明確かつモダンな感性で新演出した古典作品が人気。

4、ロシアバレエと世界のバレエの違い。

ロシアのバレエと世界のバレエはどこが違うのでしょうか？違いを確認してからロシアバレエを鑑賞すると興味が湧くと思います。

ロシアバレエは厳しくその教育課程の中にクラシックダンス、キャラクターダンス、ヒストリカルダンス、体操が取り入れられ、それらを徹底的にマスターさせます。これは、それらのどの要素を除いても一流のバレエは踊れないと言う考えに基づくものです。そして、これらの要素を完全にマスターしたダンサーが、さらに自分の独創性を加えて自己表現したダンスをするため、ロシアのバレエの水準が一流と言われるのです。そこが、その他の国と決定的に異なる点です。

ヨーロッパやアメリカのバレエは、どちらかというところ芸術というよりショービジネスの色彩に重きを置いているところがあり、バレリーナ個人の個性を重んじるよりも、バレリーナ養成の段階から教育自体がマニュアル化されており、皆一様なダンスを目指してダンサー養成を行っているよう

です。

そのため、ダンサーが個性的な解釈で踊る余地が少なく、皆一様なダンスをする傾向があります。ここが芸術としてのバレエでは無く、ショービジネスを効率的に行う色彩に重きを置いていると言われる所以です。

欧米のバレエは、どちらかというと言器械体操の延長のように思われるダンスをするのですが、ロシアのバレエは、その教育課程でしっかりと身につけた基礎を基にした豊かな表現力が最大の魅力です。これは、ロシアの伝統が生み出した芸術です。それがロシアに是非バレエを観に行かなければならない最大の理由なのです。

なお、ロシアのバレエも時代の進化に伴って独自の芸術を開花させようとしており、近年ではマリインスキー劇場、ボリショイ劇場とも非常に前衛的な作品に挑戦もしています。場合により非常に大胆な進化を遂げており、今後の発展も非常に期待できます。

では、日本のバレエ界はどうでしょうか。日本のバレエは、ロシア革命後に日本に亡命をしたバレエダンサーのエリアナ・パヴロヴァ女史が鎌倉にダンス教室を開き、バレエを教えたのが始まりだと言われています。パヴロヴァ女史は日本に帰化し、精力的に日本のバレエ発展に尽くした偉大な方でしたが、クラシックバレエの素養が中心で、その他のダンスの素地が少なかったため、その後の日本のバレエの方向性はどちらかと言うとクラシックバレエが中心となってしまいました。ただ、最近は岩田守弘氏はじめロシアにバレエ留学する日本人も増え、また、日本でもワガノワバレエの教授法を継承している中の1つの学校であるペルミバレエ学校が日本校として日本に進出しており、少しずつでも日本にロシアの伝統が根付くつつあります。

## 5、現代のロシアバレエのスター達

### ①マリインスキー・バレエ

#### ★ディアナ・ヴィニシヨワ

ロシアを代表するバレリーナ。アメリカン・バレエ・シアターでも活躍。1976年サンクトペテルブルク生まれ。ワガノワ・バレエ・アカデミー出身。ロシアバレエの型を完璧にマスターしながら、その感性に応じて自在に独自の解釈をするため、一瞬たりとも目を離せない魅力がある。

#### ★ウリヤーナ・ロパートキナ

マリインスキーバレエの頂点に立ち続けるプリマ・バレリーナ。1973年ウクライナ・ケルチ生まれ。ワガノワ・バレエ・アカデミー出身。ポーズの完璧な美しさが特徴。無駄を全てそぎ落としたような動きは見る人を魅了してやまない。

★ファルフ・ルジマートフ

ロシアのカリスマ・ダンサー。マリインスキーバレエの男性スター。日本にもガラ公演などを数多くこなしており、ファンが多い。1963年生まれ。ワガノワ・バレエ・アカデミー出身。

★ウラジーミル・シクチャーノフ

サンクトペテルブルク出身。マリインスキーバレエの貴公子。ワガノワ・バレエ・アカデミー出身。ルックスも良いが、高い跳躍、やわらかな着地など高いテクニックは沢山の見せ場を作ってくれる。ロマンティック・バレエももちろんだが、現代作品でも力を発揮するマルチダンサーでもある。

★アリーナ・ソーモワ

マリインスキーバレエの新世代のバレリーナ。1985年生まれ。ワガノワ・バレエ・アカデミー出身。入団翌年には「白鳥の湖」の主役に抜擢され、注目を浴びる。2008年よりプリンシパル。

★ヴィクトリア・テリョーシキナ

新世代のマリインスキーバレエを代表するプリマ・バレリーナ。1982年クラスノヤルスク生まれ。ワガノワ・バレエ・アカデミーに編入し、卒業。

長身で均整のとれたスタイルで、躍動感がありながらもアカデミックなバレエが魅力。

②ポリショイ・バレエ

★スヴェトラナ・ザハーロワ

現代のポリショイバレエを代表するスター・バレリーナ。バレリーナとして理想的な身体条件（長く美しい手足に小さな顔）を完璧に備え、見る人を魅了する。1979年、ウクライナのルーツク生まれ。キエフバレエ学校からワガノワ・バレエ・アカデミーに編入。1996年マリインスキー・バレエに入団。その後、マリインスキー・バレエのスターとして活躍したが、2003年にポリショイ・バレエに移籍。ポリショイでもさらに開花し、自由で伸びやかなバレエに発展し、見る人を魅了し続けている。

★マリヤ・アレクサンドロワ

ポリショイらしいスケールの大きな踊りと圧倒的な華やかさで観客を魅了する。生粋のモスクワっ子。ポリショイアカデミー出身。1978年生まれ。

1997年モスクワ国際バレエコンクールで金メダルを獲得。飾らない人柄もファンから好かれている。

★スヴェトラナ・ルンキナ

名実ともに今のバレエポリショイ・バレエを代表するプリマ・バレリーナ。1979年モスクワ生まれ。ポリショイ・バレエアカデミー出身。ポリショイ入団1年目で「ジゼル」の主役に抜擢された。往年の名プリマ・

マクシーモワの薫陶を受け、才能を大きく開花させた。

★エフゲーニャ・オブラスツォーフ

若手のホープで、愛らしい容姿、アカデミックでしなやかな踊り、ドラマティックな表現力と三拍子そろったプリンシパル。1984年サンクトペテルブルク出身。マリンスキーバレエ団入団後に「ロミオとジュリエット」主役に抜擢される。2005年モスクワ国際バレエコンクール金賞受賞。2012年にボリショイに移籍。

★セミヨーン・チュージン

ロシアバレエ界注目の若手スター。カールした金髪、長身に美しい脚のラインが印象的。1985年ノヴォシビルスク出身。2008年にモスクワ音楽劇場バレエに入団。その後、ボリショイにプリンシパルとして移籍。今後を期待されている。

★アンナ・ニクーリナ

大きな瞳と可憐な容姿がひととき目を引く。モスクワ生まれ。ボリショイバレエ団に入団後、往年の名プリマ、マクシーモワの下で指導を受け、2004年、19歳の若さで「白鳥の湖」の主演デビューを飾った。ボリショイバレエ団を担う中心ダンサーのひとりとして確実に成長し続けている。

(2015年1月30日 加藤 聡)